

fate/ Wolf



R18
Adult
Only

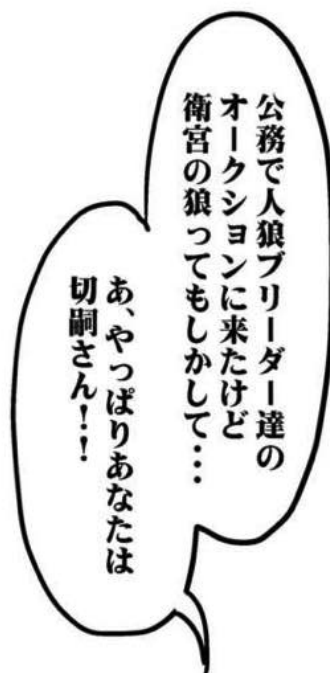
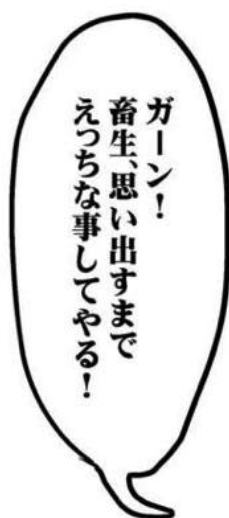
FATE/ZERO FANBOOK
KOTOMINE KIREI × EMIYA KIRITUGU

2

fate/Wolf2

※切嗣さん人狼設定本
スカトロ描写等ございますので
苦手な方はご注意ください。





■前回のあらすじ(うろ覚え)と補足

大物政治家兼ブリーダーのアインツベルの人狼、アイリスフィールを孕ませた狼が居た。しかし、これがなかなか優秀な子が生まれ、ブリーダー協会と聖堂教会で取り合いになるが精液を搾取した後処分という事に。そこで囚われたのは人狼衛宮切嗣。人の言葉を喋り服を着た200年以上生きるなんかちょっと変わった狼である。公務で来た言峰くんは、仕事を全うするのだが、実は小さいとき遊んでもらった思い出があるぞ！！だがこのご長寿さんにとっては一瞬の出来事。この野郎覚えてねえ！！

おしおき流腸の刑中。





皆さん
絵というのは
人の心を写します

美しいもの
大好きなもの

自由に描いて
くださいな



黒を混ぜると色が
くすんでしまうのよ
困ったでしょ？

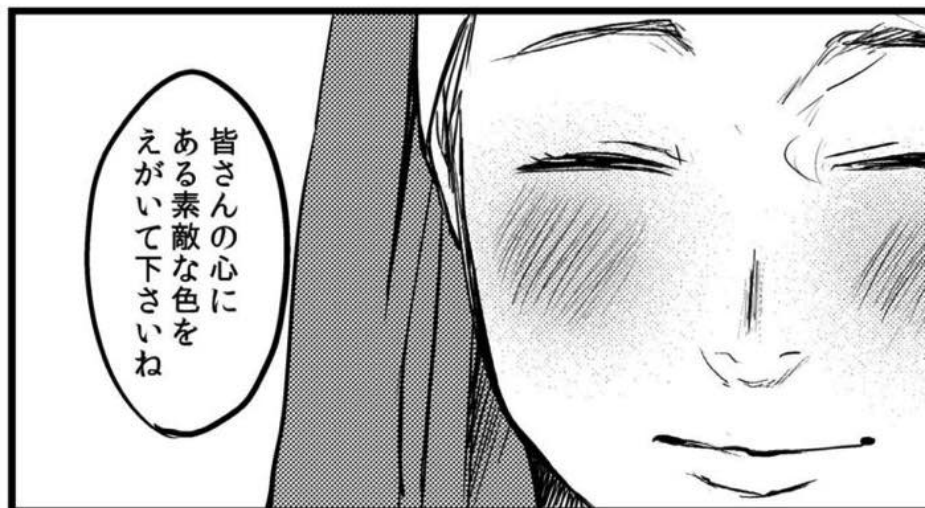


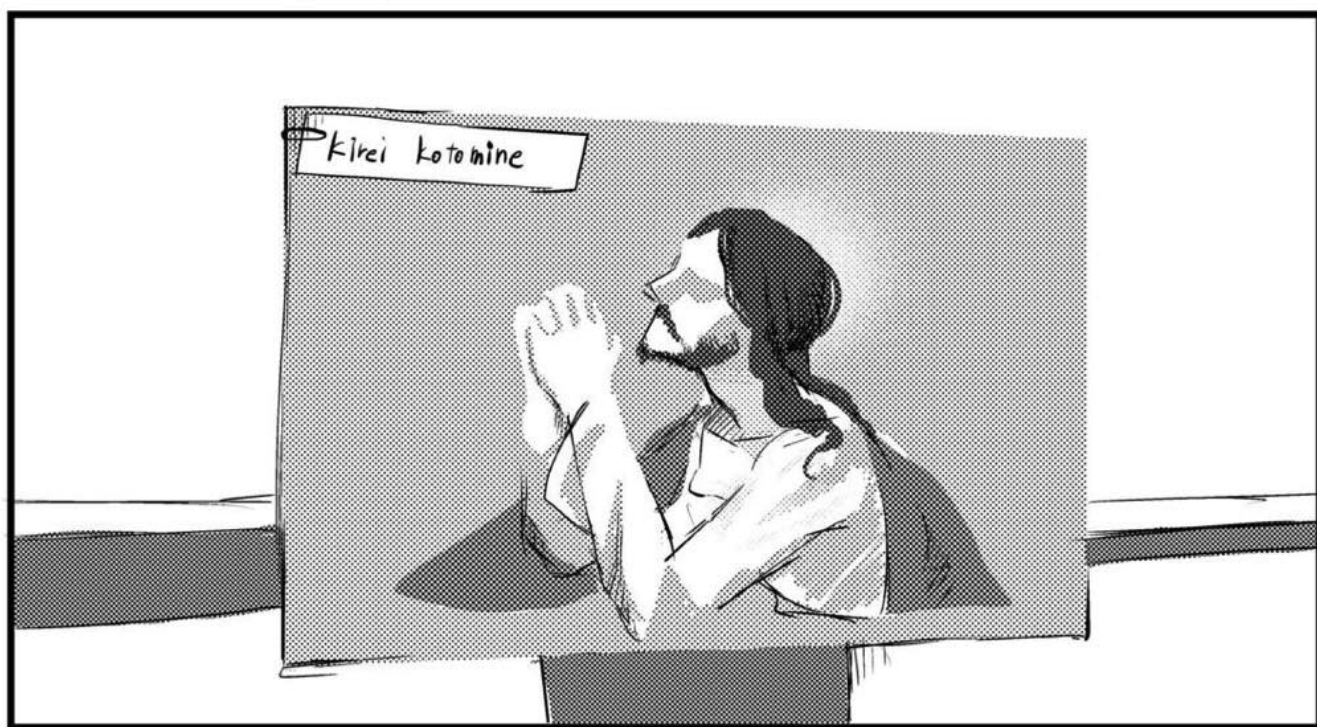
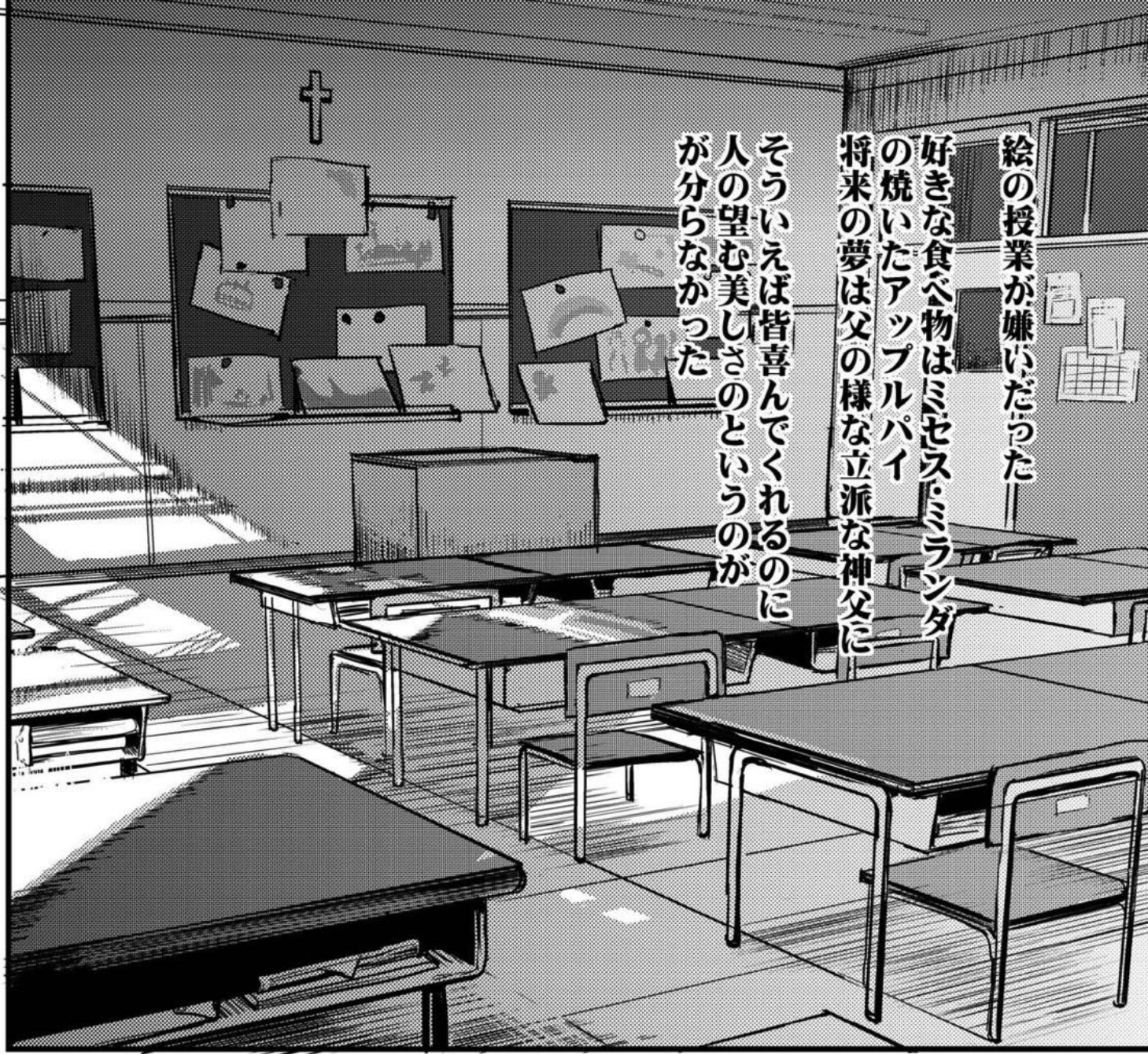
あら綺麗くん

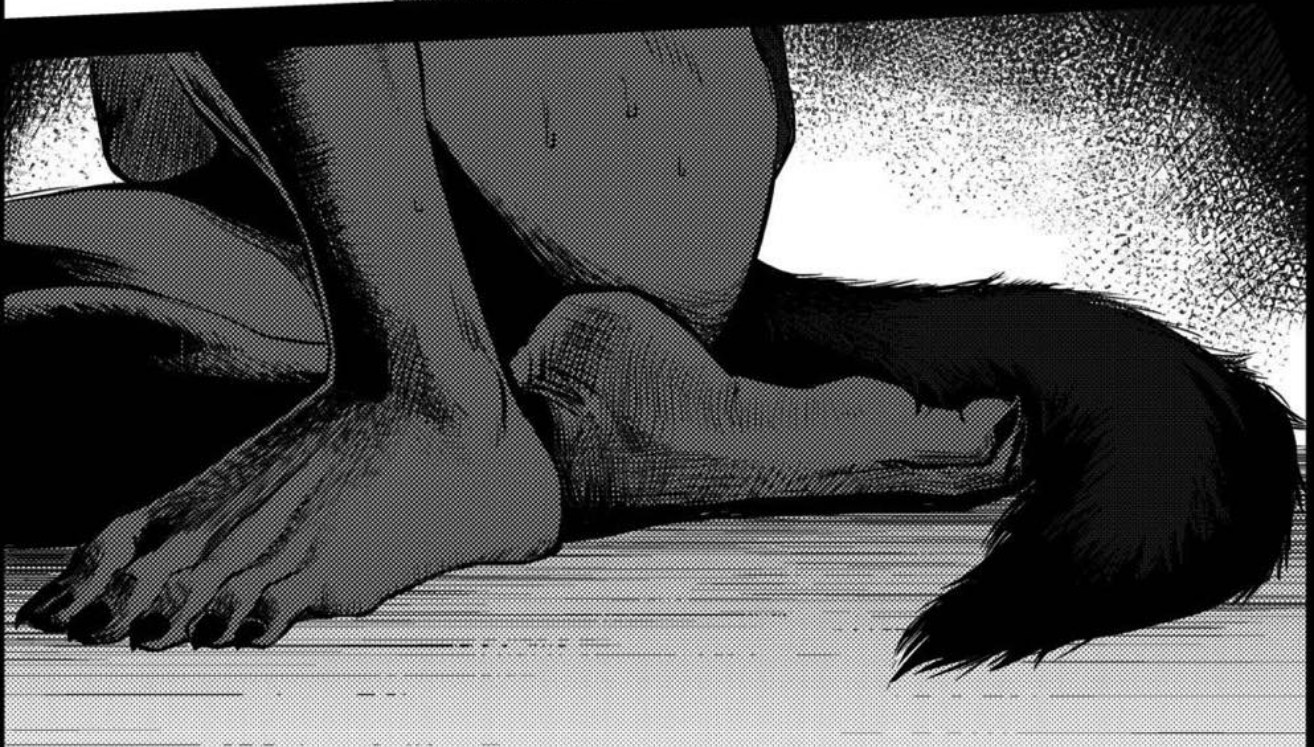
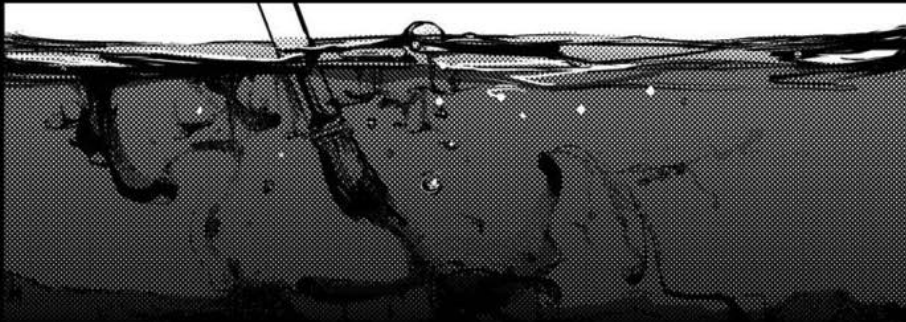
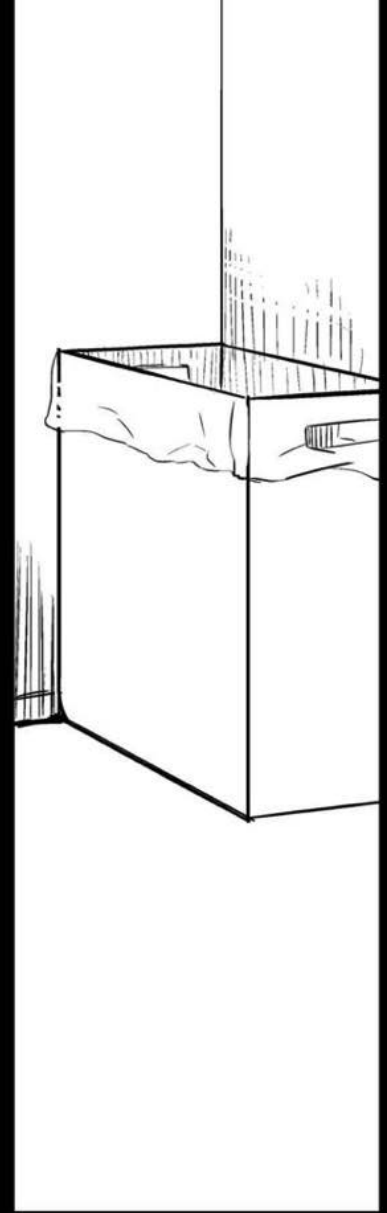
紙が真っ黒になって
しまったのね

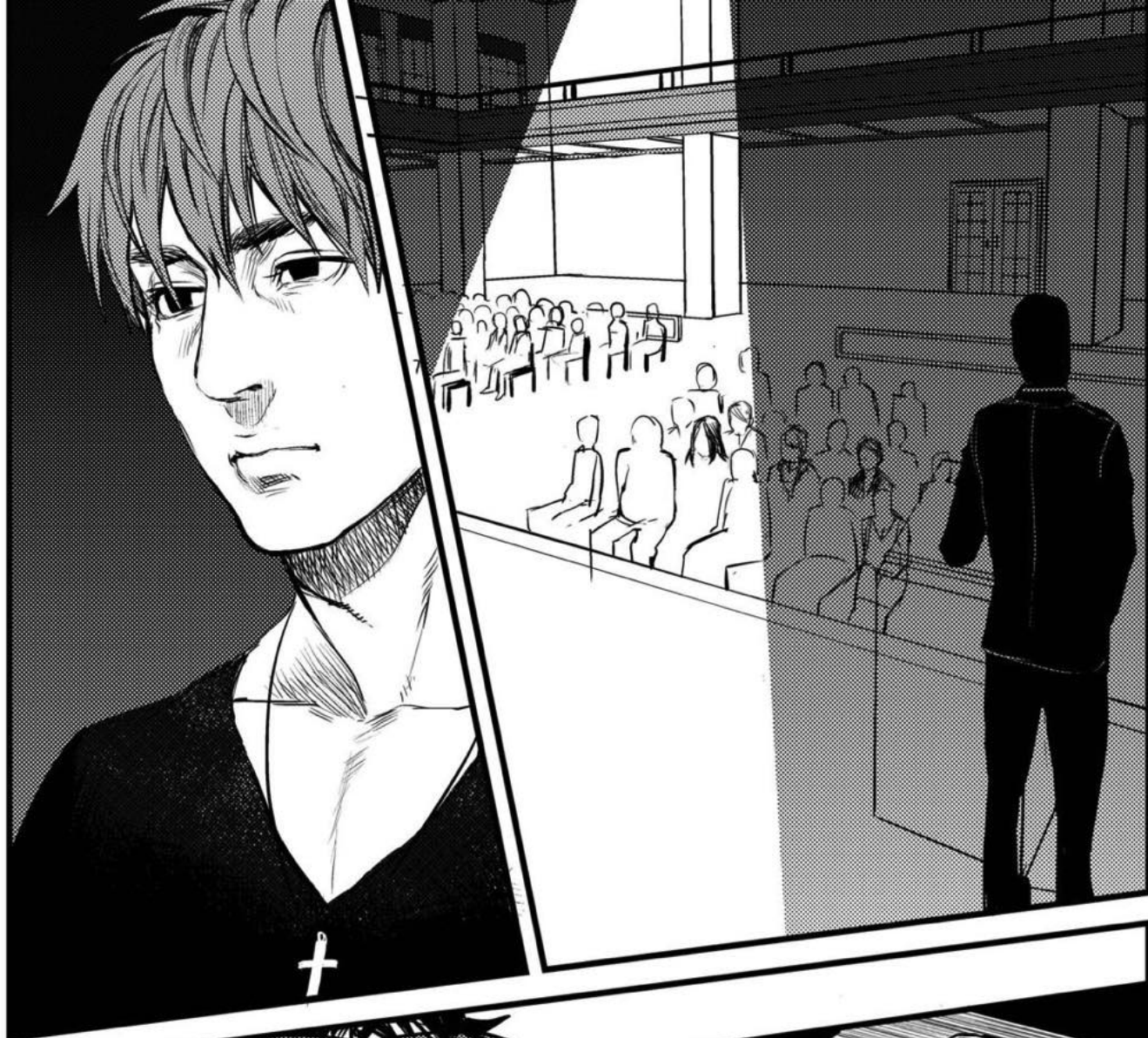


お水がすぐに汚れてしまうし
絵も真っ暗になってしまっ
から黒の絵の具は使わない
方が上手に出来るわよ



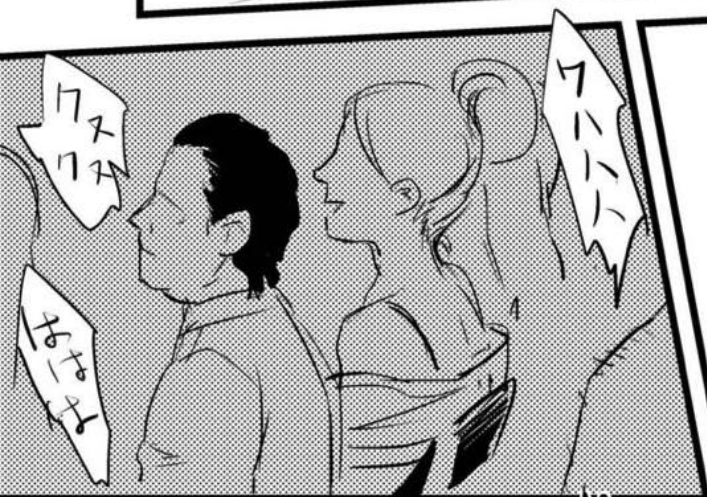








入ったじゃないか
1リットル



殺してやる...

殺してやる



なるほど
それは楽しそうだ



どうして

どうして僕がこんな
目に合わなきゃいけ
ないんだ







中東では異端者に
下剤を飲ませ肛門を
接着剤で閉じるそうだ

人狼のブリーダー共に任せても
お前を機械に繋いで死ぬまで
体液を搾り取るか
良くて愛玩動物だな

二百年生きた狼といえど
所詮どこへ行っても珍品扱いか
人の姿に似せようとした
悪魔として討伐されるだけだ

切嗣

これ以上どう優しく
しろと言うのだね

人狼は本来、知性や教養
言語を持たない

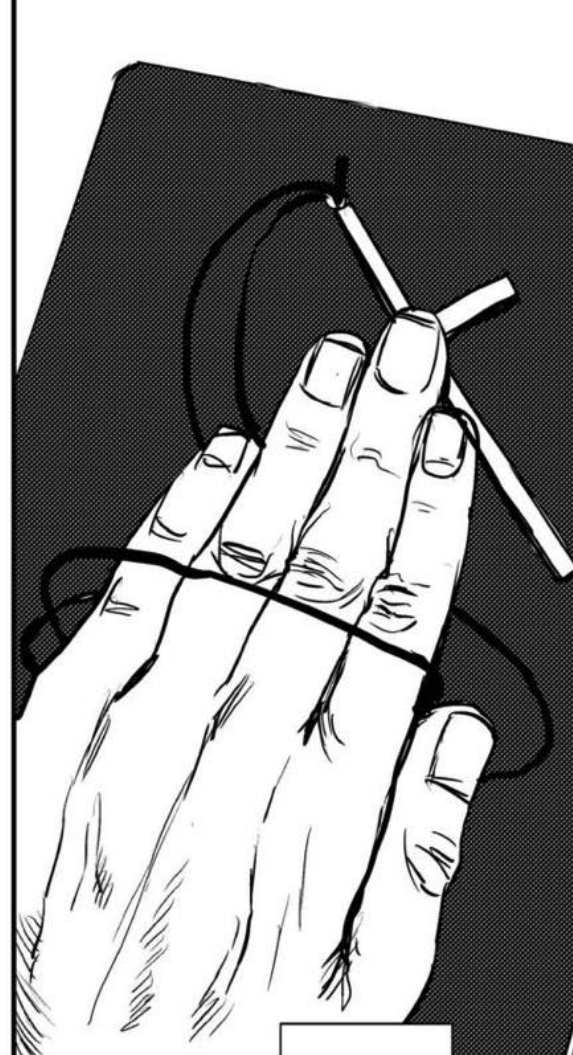
交配に成功したとして
生まれる仔の60%が
なんらかの障害を持ち
平均寿命は僅か十数年

こんな
酷い事して
何が優しいだ

ブル
ブル
はふ
はふ



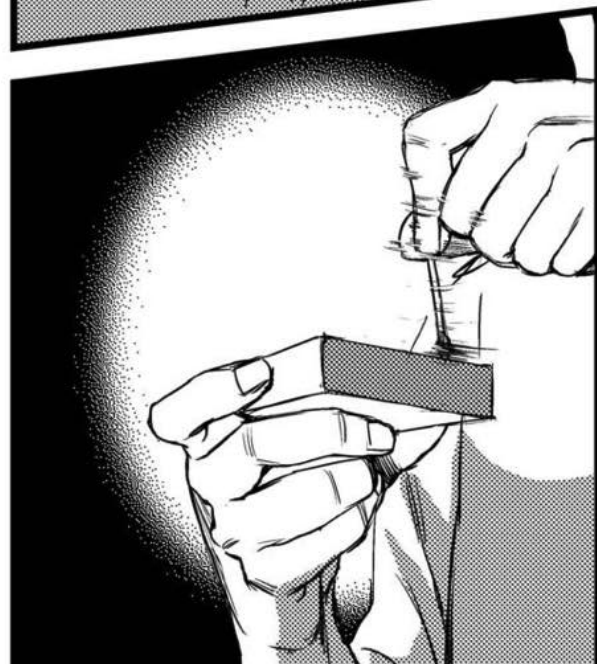
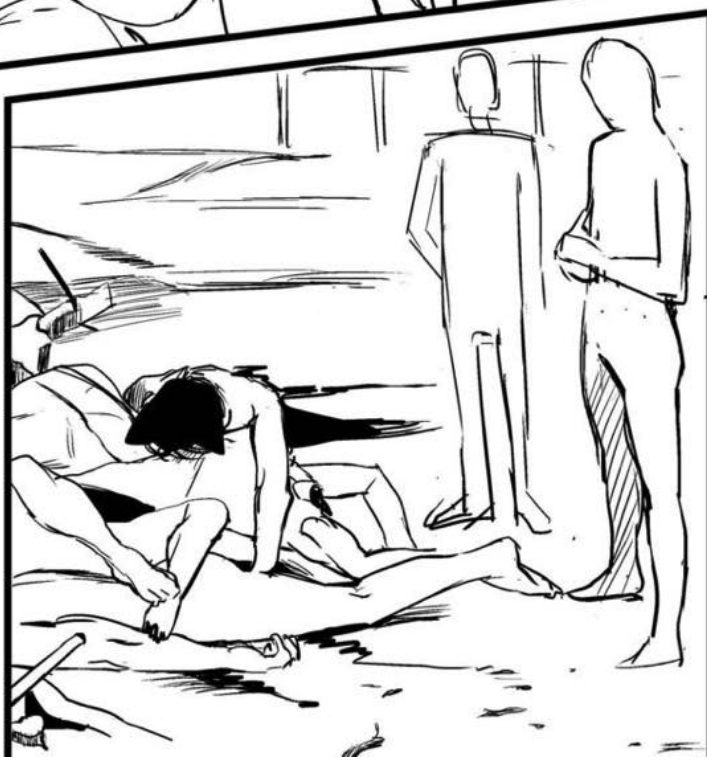
殆どの人狼が山で生まれ
食欲の赴くまま里へ降り
作物を食い荒らし、時には
人まで食らう者も居る



教会のテキストには
人狼は獣と人間が
禁忌を犯した結果宿った
悪魔であり、人類への
戒めだと書いてあった

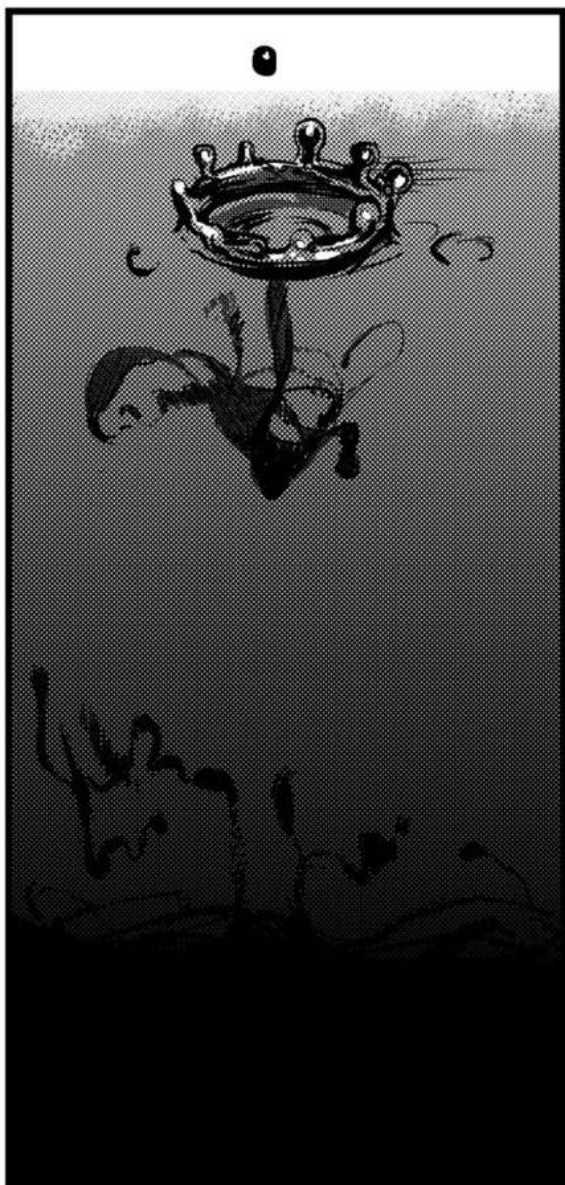


いつの時代も
僕らは常に
悪者だった





僕らは性病の起源と
いっしょくたにされて
同じように駆除されている



群れを失い
寂しさでそのまま
消えてしまいた
い時期もあった



人間の御眼鏡に叶う容姿を
備えた人狼が生まれる事も
あり、無理やり繁殖させたり
調教飼育して高値で売買する
いるブリーダーも居る



僕らの「穢れた血」は
上級魔術師の二十倍
もの魔力が含まれ
密かに高値で
取引されている



沢山の人狼と出会い
人里を襲わないよう
教養をつけさせる
努力を随分したが



結局上下関係を
思い知らせる事が
最も効果的だった

僕の体内に巡る魔力は
通常の人狼とは非ならず
死への期待とは裏腹に
気付けば200年生きていた

そのうち僕はこつそり
人里へ降りるようになり
子供たちと多く触れ合った

会話を学び文字を学び
人間と仲良くなった

『神である主はアダムと
その妻のために、皮の衣
を作り、彼らに着せて
くださった。』

確かそれで、
服をくれた子が居て

だから
裸は恥ずかしい
事なんですよ！

ハズカシイってなんだ？
僕はそれを知らないぞ

服を着るといのは
尊厳を得るとい事です
高等生物の権利ですよ







綺礼がせつかく
僕を人間にして
くれたのに

うう…
ごめん綺礼

気持ちい

おお
服従のポーズ！

うわくつせー
次はバケツにさせて
くださいよ神父さん

ああ分っている

も、もーだめだ
体が熱い

また恥も尊厳も無い
獣に戻ってしまう

もうどうでもいいや

切嗣

あと2時間
もすれば教会から
異端者討伐隊が来る

ここに居る
ギャラー共は異端
裁判にかけられる
だろう

へえ
僕ここで死ぬのか

どうせだから
いつてる間に
殺してくれよ



痛いのも気持ち良いのも
同じだろ、もうなんでもいい

切嗣、お前の目は
美しいな



例えそれが許されざる
事だとしても

その何も写さぬ
濁った色を私は
とても愛しているよ



あと2時間

ぜいぜい異端者共が追う
価値も無いと思うほど
無価値で下品な犬に
成り下がるがいい



あゝあゝあゝ

うな
あゝあゝ

びゅる

終われなかった

■やばい！前回不完全燃焼感があったので、今回はエロエロにするぞ～と思っていたら気づいたらぜんぜんエロくなかった！なんかうんこして終わった！
自分でもそろそろ普通の切嗣さんが一番ラブだよという事に戻ってきてはいるんですが一応やりたいプレイとかあってダラダラ続いている…
描く時ネーム作らないので、話纏まるかはいつもカケだけど今回はほんとにだらだらやってんなと思います。しかもまとまってない。
3で…3で終わりにするのでお付き合い願えれば幸いです。

■自分は黄土色や灰色が好きなのですが、どうも小学校の頃はオレンジかブルーかピンクかみたいな雰囲気があって、黄土色好きなのはおかしいと言われた事があります。
それ以来オレンジと言いつつ、肌の色も私には黄土色や灰色に見えるのに
全て薄ピンク色で塗っている時代がありました。大人になってからやっと、好きな色
を好きに使っていいんだと思えるようになりましたがそれまでに随分時間がかかりました。
言峰少年も、そういう強制された縛りを自分の中で沢山持っていたのでは無いかなあと
思っています。

Fate/Wolf2

印刷所:K9様
サークル:めっちゃより
作者:みつる
twitter:Mituru_666
Mail:info@xxx.babymilk.jp

Fate/Wolf2

fa/te/zero fanbook
By HACHORI, MITURU
Kotomine Kirei x EMiya Kiritsugu

